

とくちの森 de 野遊びっちゃおう！

- ①令和2年4月4日(土)・5日(日)・11日(土)・12日(日)・18日(土)・19日(日)
- ②令和2年6月6日(土)・7日(日)・13日(土)・14日(日)・21日(土)・28日(土)
- ③令和2年7月11日(土)・18日(土)

【目的】 家族で自然の中で体を動かす時間を通して、家族間コミュニケーションを図るとともに、心身の健康を保つ機会とする。

【参加者】 ①合計86人(延べ人数) ②合計35人 ③合計11人

【プログラムの内容】

- ①4月開催：草そり&スカイボード・ディスクゴルフ・テント設営・スタンプラリー・フィールドビンゴ・ツリーハウス
フリー散策
- ②6月開催：焚き火体験・テント設営体験・アドベンチャーコース体験
- ③7月開催：水辺の生き物観察・竹細工(ウグイス笛・カスターネット)

4月開催 野遊びっちゃおう！

本所の活動プログラムを開催日ごとに様々設定し、参加者が自由に選択して体験できる内容で実施した。悪天候により、開催を中止した日程もあったが、参加したご家族のほとんどが自然の中で家族と過ごす時間を楽しんでいる様子がみられた。

【4月4日(土)・5日(日)】 ディスクゴルフ・ツリーハウス

【4月11日(土)・12日(日)】 フィールドビンゴ・草すべり

【4月18日(土)・19日(日)】 テント設営・ツリーハウス

【全日共通】 スタンプラリー・フリー散策

※4/18・19は新型コロナウイルスに関する非常事態宣言を受け、開催中止

6月開催 野遊びっちゃおう！



6月はテント設営、焚き火体験、アドベンチャーコース体験を設定しての開催となった。

テント設営では、ほとんどの家族が初めての設営となり、苦戦しながらも、親子で力を合わせて完成させることができた。

焚き火会では、薪を自分たちで割るところからスタートし、子どもたちが少し怖がりながらも、マッチに火をつけていた。火が消えそうになると小枝を拾っては入れ、拾っては入れを繰り返す。持参したジャガイモが焼けるまで火を保ち続けることができた。

アドベンチャーコース体験では、6mの高さまでコースを登り、丸太を渡ったり、バーに向かってジャンプしたりする体験を行った。恐怖心とチャレンジ意欲の間で非日常体験を楽しんでいた。

7月開催 野遊びっちゃおう！



7月11日(土)の「水辺の生き物を見つけよう」では、あいにくの天候となったが、先生方が水辺の生き物を捕獲、準備していただいたおかげで、見たこともない形態をした生き物に興味津々の様子でルーペや顕微鏡を一生懸命に覗き込んでいた。生き物に関するクイズやカルタを通して、楽しく生き物について学んでいた。

7月18日(土)の「竹細工で楽器をつくろう」では、先生の面白い竹の話から始まり、小刀などを使って楽器作りを楽しんでいる様子であった。できた楽器におそろおそろ息を吹き込み、音が鳴った時は喜びの表情が広がった。最後にみんなで一斉に鳴らして、合奏した。



【参加者の声】

参加者からは、「親子で活動できて、楽しい時間を共有できた」(4月参加保護者)、「なかなか屋外に連れ出せる機会がなく、広々とした場所で遊ばせることができてよかった」(4月参加保護者)、「テントを家族で建てて楽しかった」(6月参加子ども)、「高い所が恐かったけど、行けてよかった」(6月参加子ども)、「普段見れない生き物を観察でき、大人の方が興奮してしまった」(7月参加保護者)、「作るのが難しかったけど、音が鳴った時はうれしくて楽しかった」(7月参加子ども)といった声をいただいた。

【成果と課題】

参加者からは95%以上から満足度4をいただいた。参加者が大きな準備を必要とせず、活動に参加できる活動プログラムの提供ができた半面、広報から開催までの時期が短かったため、十分な広報活動ができなかった。